

## 映像補完資料

岡山県西粟倉村

森林資源を活用した地域雇用創造の実現

## 【村の概要】

- 人口1,589人(高齢化率32.59%)
- 総面積57.9km<sup>2</sup>(森林面積55.0km<sup>2</sup>)
- 人工林率85%は、岡山県1位
- 主な産業 林業、観光、農業
- 林業の始まりは、江戸中後期(約200年前)に始まる
- 戦後、入会権山を村民に払い下げ、造林を拡大してゆく(零細な山林所有者が数多く誕生)

## 【取組みの背景(課題)】

- 平成に入って誘致企業の相次ぐ撤退、倒産
- 林業、観光業の衰退
- 働く場の減少、人口の減少、過疎化に拍車がかかる
- 地域が安心して安定した暮らしを持続するには、若者が住める環境を整えること
- 村の最大の地域資源である森林を活用し、裾野の広い産業に育成、拡大することにより、雇用の創出を目指す

### 【事業内容(対策)】

- 原材料の供給地から最終製品まで生産できる村に
- 心産業(しんさんぎょう)の開発、ツアー企画
- 大量生産、大量消費型産業からの離脱を目指す
- 都市部からIターンによる人材募集
- 村に商社機能を持つ=(株)西粟倉・森の学校の設立  
(実現事業を活用)
- 役割分担。役場:零細な山林所有者のとりまとめ。
  - ・森林組合:施業の効率化による競争力ある木材の供給。
  - ・森の学校:商品開発、市場開拓、ツアー実施、村の情報発信

### 【成果】

- パッケージ事業(3年間)
  - アウトプット780人、アウトカム125人、再就職者44人
- 森の学校は、平成23年4月現在で30人の従業員が就労
- その他波及効果で、観光施設、森林組合、(株)木薫などで約30人が新たな雇用が生まれた

### 【メッセージ】

- いかに雇用を創出してゆくかは、中山間地域の共通課題であり最重要課題
- 自ら雇用政策を企画、実践して雇用創出してゆくことが求められている
- パッケージ事業・実現事業は、地域の課題を解決してくれた